

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

特別会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	緊急通報システム事業				事業番号	011-055	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
	無		現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—	
			無	取組	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	—		
3	事業開始年度	平成 9 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	堺市高齢者緊急通報システム事業実施要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区		
6	事業の対象	本市の区域内に住所を有しており、①おおむね65歳以上の病弱等の一人暮らし高齢者又は高齢者のみの世帯の方、②昼間又は夜間に独居となるおおむね65歳以上の病弱等の高齢者	対象数	単位
			約23万	人
7	事業の目的	急病、事故等の緊急事態への迅速な対応によって、高齢者の不安感を解消し、高齢者の在宅生活を支える。		
8	事業内容	【事業内容】 高齢者等宅への緊急通報装置の設置（申請に応じ通年）。 緊急ボタンを押すと消防局に通報され急病等に対応し、相談ボタンを押すと委託業者に通報され健康面の相談等ができる。 【実施方法】 緊急ボタンを押下した利用者への対応（消防局、委託業者） 相談ボタンを押下した利用者への対応（委託業者）		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	大阪ガスセキュリティサービス株式会社		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	相談通報件数	件		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	—	—	—	—
			実績値	2,440	2,476		
達成率	—	—					
当該指標を選定した理由		利用者からの相談通報件数を指標に選定することで、利用状況を把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまないことから、実績値のみとしている。					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	設置件数	件		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	—	—	—	
			実績値	4,138	3,909		
達成率	—	—					
当該指標を選定した理由		装置の設置件数を指標に選定することで、利用ニーズを把握することができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		利用者の状況に応じて件数が変動するため、目標設定はなじまないことから、実績値のみとしている。（R8.3末現在設置件数）。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		緊急通報システム事業				事業番号		011-055	
-------	--	------------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

13	財源内訳	項目	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			決算		決算		当初予算		当初予算		
		事業費 (a)		63,150		63,018		66,556		64,664	44,999
		国支出金		13,949		13,700		13,892		13,142	13,700
		府支出金		6,975		6,850		6,946		6,570	6,850
		市債		0		0		0		0	0
		その他 (第1号被保険者保険料)		8,333		8,184		8,299		7,851	8,185
		受益者負担金(使用料、手数料等)		974		912		998		735	911
	一般財源		32,919		33,372		36,421		36,366	15,353	
14	人件費 (b)		3,150		3,110		3,320		3,320	3,490	
15	年間経費 (c)=(a)+(b)		66,300		66,128		69,876		67,984	48,489	

事業費の内訳

(単位：千円)

16	事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		緊急通報システム業務	R7	決算	44,389	16,150		R7	決算		
			R8	予算	44,579	15,273		R8	予算		
		通信運搬費	R7	決算	74	15		R7	決算		
			R8	予算	220	42		R8	予算		
		消耗品費	R7	決算	20,201	20,201		R7	決算		
			R8	予算	0	0		R8	予算		
		緊急通報システム業務リーフレット作成	R7	決算	0	0		R7	決算		
	R8		予算	200	38	R8		予算			
		R7	決算				R7	決算			
	R8	予算				R8	予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位	令和6年度	令和7年度
	① 設置件数	件	4,138	3,909
	② 上記①にかかる年間経費	千円	66,128	67,984
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,981	17,392
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18

・令和7年度は2,476件の相談を受け、新たに341件の装置を設置した（R8.3月末現在の設置件数は3,909件）。

・装置の設置完了時に、以下のとおり自己負担金を徴収。

①所得税非課税世帯：無料

②課税世帯：8,400円

※ただし、事業の対象者（項目6）のうち②に該当する方については、上記②に加えて32,000円を負担。

昨年に比べ設置件数は減少したが、半導体等の価格高騰により緊急通報装置の価格が上昇したことにより、年間経費は増加し1件あたりの経費も増加した。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

緊急通報装置の緊急ボタンを押下すると消防局の119番に直通で入電でき、急病等緊急時に迅速に対応することが可能となっている。また、相談ボタンを押すと委託会社のナースコールセンターに繋がり、看護師や保健師等に健康面の相談をすることができるようになっている。このことから、本事業はひとり暮らし高齢者等の健康面等の不安の解消をはじめ在宅生活を支えることにつながっており、基本計画の取組の方向性である「高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備」に寄与している。

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20

必要性	■ 高い □ 低い	本事業は、ひとり暮らし高齢者等に対し緊急時の迅速な対応や健康面等の不安の解消をはじめ在宅生活を支えることを目的に実施しているものである。令和3年度以降利用者数は微減しているものの、高齢者の在宅生活の継続を支えるための取組であり、今後もひとり暮らし高齢者の増加が見込まれ、また、多様化する支援ニーズに対応するためにも、必要性・有効性が高い事業である。
有効性	■ 高い □ 低い	